

1 火薬類譲渡許可申請

第3章 許可申請書等の記入例

火薬類譲渡許可申請書

申請者 火薬類を譲り渡そうとする者※。

※者とは、個人(自然人)であるか、法人であるかを問わない。(「火薬類取締法令の解説」参考)

申請先 譲り渡そうとする者の住所地を管轄する消防署※(安芸太田出張所含む。)であるが、申請者から委任を受けている場合は、受任者の現場事務所(支店、営業所等を含む。)所在地を管轄する消防署となる。(「火薬類取締法事務処理要領」参考)

※残火薬類による譲り渡しの場合、譲り渡そうとする者の住所地を管轄する消防署とは、通常、当該火薬類の消費許可(譲受消費許可含む。)をした消防署となる。

譲渡期間 有効期間は、規程第5条(火薬類の許可手続)第6項により、1ヶ月以内とする。

記入例

様式 C-1

火薬類譲渡許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

広島市消防局長 様

(代表者) 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社〇〇企画
氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

名 称	株式会社〇〇企画	
事務所所在地(電話)	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 (TEL〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)	
職 業	土木建築業	
(代表者) 住 所 氏 名 (年 齢)	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇 〇〇 (〇〇歳)	
火薬類の種類及び数量	爆薬 10kg 電気雷管 10個	
譲 渡 目 的	残火薬類の処分 譲受消費許可番号 広島市指令消指第〇号 許可日 令和〇〇年〇〇月〇〇日	
譲 渡 期 間 (1ヶ月を超えないこと)	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日	
譲渡火薬類の所在場所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 有限会社〇〇所有地上式一級火薬庫	
譲渡の相手方	住 所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
	氏 名	有限会社〇〇

注 この用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

・申請者は、法人の場合は代表権のある者(代表取締役等)、個人の場合は本人とする。
・法人の場合で、代表者以外(支店長、所長及び現場代理者等)が申請するときは、委任状の添付が必要である。委任する場合の記入は13、14Pを参考とする。

名称は、法人の場合は登記簿上の法人名(会社名)を、個人の場合は氏名を記入する。

事務所所在地は、法人の場合は本社所在地、個人の場合は住民票がある場所を記入する。

住所は、申請者の住民票がある場所を記入する。ただし、法人の場合は本社所在地でもよい。

・職業は、申請が会社等の場合は産業分類による事業名を、個人の場合は職業を記入する。
例)採石業、土木建設業等
・職業が建設業等の場合で、建設業法等に基づく登録を受けているときは、欄右側に登録番号を併せて記入する。

1 火薬類譲渡許可申請

記入例

様式 C-1

火薬類譲渡許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

広島市消防局長 様

(代表者) 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社〇〇企画
氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

名 称	株式会社〇〇企画	
事務所所在地 (電話)	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 (TEL〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)	
職 業	土木建築業	
(代表者) 住 所 氏 名 (年 齢)	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇 〇〇	(〇〇歳)
火薬類の種類及び数量	爆薬 10kg 電気雷管 10個	
譲 渡 目 的	残火薬類の処分 譲受消費許可番号 広島市指令消指第〇号 許可日 令和〇〇年〇〇月〇〇日	
譲 渡 期 間 (1ヶ月を超えないこと)	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日	
譲渡火薬類の所在場所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 有限会社〇〇所有地上式一級火薬庫	
譲渡の相手方	住 所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
	氏 名	有限会社〇〇

注 この用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

住所は、申請者の住民票がある場所を記入する。ただし、法人の場合は本社所在地でもよい。

当該火薬類の譲受許可（譲受消費許可含む。）に伴う許可番号及び許可年月日を併せて記入する。

譲渡期間を許可日からとする場合は、次の例による。
例1) 日付を空欄にして「許可日から1ヶ月」と記入する。
例2) 自の日付を空欄にして「許可日から」と記入し、至の日付に予定する譲渡終了年月日を記入する。

2 火薬類譲受許可申請

火薬類譲受許可申請書

申請者 火薬類を譲り受けようとする者*。

*者とは、個人(自然人)であるか法人であるかを問わない。(「火薬類取締法令の解説」参考)

申請先 譲り受けようとする者の住所を管轄する消防署(安芸太田出張所含む。)であるが、譲り受ける火薬類の消費地(消費地が2以上あるときはその主たる消費地)が特定しており、かつ、その消費地を管轄する消防署があるときは、当該消防署となる。

譲受期間 有効期間は、規程第5条(火薬類の許可手続)第6項により、1年以内とする。

注意事項 コンクリート破砕器に伴う申請の場合、同一の消費地において1日につき150個以下であれば譲受許可のみでよいが、県運用により、消費地が不定で、かつ複数ある場合、その合計数量は2,000個以下とする。

例) 消費地不定で、広島県内20ヶ所(1ヶ所の消費量は1日につき120個)で消費する場合、譲受許可のみでよいが、県運用により、合計数量が2,000個を超えるため、2,000個以下にするよう指導する。

記入例

様式 0-2

火薬類譲受許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

広島市消防局長 様

(代表者) 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社〇〇〇〇
氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

名 称	株式会社〇〇〇〇	
事務所所在地(電話)	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 (TEL〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)	
職 業	建設業(広島県知事許可(般-〇〇)第〇〇〇〇〇号)	
(代表者) 住所 氏 名 (年 齢)	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇 〇〇	(〇〇歳)
火薬類の種類及び数量	建設用紙打銃用空砲 1,800個	
譲 受 目 的	建設工事	
譲 受 期 間 (一年を超えないこと)	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日	
貯 蔵 又 は 保 管 場 所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 株式会社〇〇〇〇事務所内鍵付きロッカー	
消 費 に 関 する 事 項	目 的	建設工事
	日 時 (期 間)	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇時~〇〇時)
	場 所	県内一円

・申請者は、法人の場合は代表権のある者(代表取締役等)、個人の場合は本人とする。
・法人の場合で、代表者以外(支店長、所長及び現場代理者等)が申請するときは、委任状の添付が必要である。委任する場合の記入は13、14Pを参考とする。

名称は、法人の場合は登記簿上の法人名(会社名)を、個人の場合は氏名を記入する。

・職業は、申請が会社等の場合は産業分類による事業名を、個人の場合は職業を記入する。
例) 採石業、土木建設業等
・職業が建設業等の場合で、建設業法等に基づく登録を受けているときは、欄右側に登録番号を併せて記入する。

事務所所在地は、法人の場合は本社所在地、個人の場合は住民票がある場所を記入する。

住所は、申請者の住民票がある場所を記入する。ただし、法人の場合は本社所在地でもよい。

注 この用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

2 火薬類譲受許可申請

記入例

様式 C-2

火薬類譲受許可申請書

広島市消防局長 様

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(代表者) 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社〇〇〇〇
氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

名 称	株式会社〇〇〇〇	
事務所所在地 (電話)	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 (TEL〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)	
職 業	建設業 (広島県知事 許可 (般-〇〇) 第〇〇〇〇〇号)	
(代表者) 住 所 氏 名 (年 齢)	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇 〇〇	(〇〇歳)
火薬類の種類及び数量	建設用鋸打銃用空砲 1,800個	
譲 受 目 的	建設工事	
譲 受 期 間 (一年を超えないこと)	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日	
貯 蔵 又 は 保 管 場 所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 株式会社〇〇〇〇事務所内鍵付きロッカー	
消 費 に 関 す る 事 項	目 的	建設工事
	日 時 (期 間)	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇時~〇〇時)
	場 所	県内一円

注 この用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

コンクリート破砕器に伴う申請で、消費地が決まっておらず、1日150個以下を消費する場合は、2,000個以下とする。

譲受及び消費目的は同一とし、道路改良工事、橋梁工事、災害復旧工事等のように実態がわかるよう記入する。

コンクリート破砕器に伴う申請で、消費地が決まっておらず、1日150個以下を消費する場合は「1日の消費量は150個以下」と併せて記入する。

・譲受及び消費期間は同一で1年以内とする。
・譲受期間(消費期間)を許可日からとする場合は、次の例による。
例1) 日付を空欄にして「許可日から1年間」と記入する。
例2) 自の日付を空欄にして「許可日から」と記入し、至の日付に予定する譲受(消費)終了年月日を記入する。

消費場所は、字や番地まで正確に記入する。場所が不定の場合は、広島県内で「〇〇〇一円」と記入する。

時間は、実際に火薬類を使用することが見込まれる期間を記入する。

2 火薬類譲受許可申請

他法令の許認可証の写し（建設用銃打銃用空包の場合）

注意事項 銃砲所持許可証の該当部分を参考に記入する。

記入例

銃砲所持許可証写

第〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
 交付 令和〇〇年〇〇月〇〇日
 広島県公安委員会

確認 令和〇〇年〇〇月〇〇日

所持者	住所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
	職業	会社員
	氏名	〇〇 〇〇
	生年月日	大・昭・平〇〇年〇〇月〇〇日

銃砲	種類	建設用銃打銃	銃身長	〇〇〇〇〇
	型	〇〇〇〇〇〇	特徴	
	番号	〇〇〇〇〇〇	法第4条第1項に規定する用途	建設業
	口径	〇ミリメートル	替え銃身	
	適合する実包又は空包	建設用銃打銃用空包	備考	
主たる所持目的		建設用		

記載事項変更届	届出年月日	変更事項	公安委員会印
	令和〇年〇月〇日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
	令和〇年〇月〇日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇	

上記のとおり相違ないことを証明します。
 令和〇〇年〇〇月〇〇日

住所 広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
 氏名 株式会社〇〇〇〇
 代表取締役社長 〇〇 〇〇

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

銃砲所持許可証

第〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
 交付令和〇〇年〇〇月〇〇日
 (原交付令和〇〇年〇〇月〇〇日)
 広島県公安委員会 印

確認 令和〇〇年〇〇月〇〇日
 許可の有効期間 至 〇月 〇日まで

所	本 籍	株式会社〇〇〇〇
住	法 所	広島市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
職	職 業	会社員
名	氏 名	〇〇 〇〇
生	生 年 月 日	平成〇〇年〇〇月〇〇日

種 類	建設用銃打銃	銃 身 長	〇〇〇〇〇
型 式	〇〇〇〇〇〇	銃 の 全 長	〇〇センチメートル
器 器 名 義	〇〇〇〇〇〇	銃 身 長	センチメートル
口 (径) 径	〇 ミリメートル インサ 〇	弾薬装填及び 引き戻し可能 銃 弾 数	建設用 銃打銃用空包
特 徴	適 合 実 包 (空) 包	替 え 銃 身	建設用 銃打銃用空包

法第4条第1項に規定する用途	建設業	公安委員会印
届 出 年 月 日	交 更 事 項	
令和〇年〇月〇日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
令和〇年〇月〇日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
備 考		